



学校だより

<http://fussa-3e.hs.plala.or.jp/>

令和5年5月31日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162
電話：551-0249

確かな学力を身に付けられる学校づくりに向けて

副校長 西村 学徳

5月中旬より、中休み・昼休みになると何人もの子供たちが校長室にやって来て、列になっています。5月9日の全校朝会で校長先生より子供たちに、三小で「詩の暗唱」の取組を行っていくことが伝えられました。その校長先生の話を受けて、みんな詩の暗唱を校長先生に聞いてもらいに校長室にやって来ているのです。5月の暗唱の詩は、1年生は「あいうえお」、2～6年生は「しんぴんのあさ」でした。この取組のねらいは2つあります。1つ目は、詩の暗唱を通して、しっかり取り組むことが成果につながるという成功体験を子供たちに積み重ね、自己肯定感を高めていくこと。2つ目は、様々な詩に触れ、語彙を増やし、表現力や感性を高めていくことです。今年度から始めた新たな取組に、しかも検定が子供たちの大好きな休み時間ということで、どれだけの子供たちが来るかなと心配しましたが、予想を上回る子供たちがやってきて驚きました。同時に、子供たちのやる気に感心しているところです。校長室に入ってくる子供たちの目は、真剣そのもの。校長先生の前で多少緊張しながらも、皆、一所懸命に詩を暗唱しています。校長先生に「合格！」と言われて、喜んで校長室を後にする子、「うーん、惜しい。あと少し！次は合格できるよ。」と言われて、悔しそうな表情で校長室を後にする子等、様々ですが、どの子からも「できるようになりたい！」「頑張りたい！」という学びへの前向きな思いが強く感じられました。そして、学校として、教員として子供たちのその思いに十分に答えていかなければならないと改めて強く感じています。



さて、本校では今年度「よく学び やりぬく子」を重点目標とし、子供たちに確かな学力、粘り強く学びに向かう力を身に付けさせることを目指して、日々の教育活動を進めています。先ほどの詩の暗唱は、本校の学力向上の取組の一つです。他にも、読書活動の推進（毎学期の読書週間や読書の宿題等）、毎週木曜日の授業型朝学習や月1回の放課後学習教室の実施、学習におけるICT機器の活用（iPadや大型モニター・電子黒板等）、「ふっさっ子学び方スタンダード」の徹底等、様々な取組を通して子供たちの学力向上を図っています。そして、当然ですが、何よりも大切となるのが日々の授業の充実です。そのためには、学習指導する教員が子供たちに「分かる授業」、子供たちが「できる授業」を展開していかなければなりません。今年度の校内研究では「主体的・対話的で深い学びの実現～国語科の授業改善を通して～」をテーマに、小金井市教職員研修センター教授の不破淳一先生より指導を受けながら教員の学習指導力の向上を図っています。早速5月には、2つの学年で研究授業を行いました。教員が研究や研修を通して学んだことをしっかりと、子供たちに還元していきます。また、今年度は年度初めに「家庭学習の手引き」を各御家庭に配布させていただきました。御一読いただき、御家庭でのお子様の家庭学習の一助にいただければと思います。

いよいよ1学期の後半、6月に入ります。6月の詩の暗唱は、全学年「いろんなおとのあめ」へと変わります。今後も子供たちの学びへの意欲を大切にしながら、確かな学力の定着に向けて教育活動を進めてまいります。